

「姉妹校宣言」調印式

美祢市立於福中学校 南投県立水里国民中学



8月6日(日)に、村田市長を立会人として、於福中学校と台湾南投県水里郷にある水里国民中学が「姉妹校宣言」の調印式を行いました。また、両校は、8月6日～7日の2日間の日程で生徒間交流を行いました。水里国民中学の生徒22人は6日の夜、於福中生徒・卒業生のお宅にホームステイをし、日本の一般家庭の生活を体験しました。村田市長もホームステイを引き受けました。



国際交流の推進

市では、「市民が『夢・希望・誇り』をもって暮らす交流拠点都市」の実現に向けて、「国際交流の推進」に力を注いでおり、台湾南投県水里郷とは、2013年4月に「友好交流の促進に関する確認書」を締結しました。

昨年8月に台湾に派遣した美祢市の中学生14人は、水里中の生徒宅でのホームステイ・台湾料理体験・水墨画体験などで台湾生活を堪能し、言葉や文化の違いを超えて交流を深めることができました。

今回、水里中の来市にあわせ、於福中と水里中は「姉妹校宣言」の調印式を行いました。また、2日間の交流会やホームステイの受入をとおして、台湾の文化を知るだけでなく、日本・美祢市に伝わる伝統文化を改めて見つめなおすことができました。

交流会の中で於福中の生徒は、共通言語である「英語」を使って学校紹介や簡単なゲームを行うなど、学習したことを実際の場面で活かす、貴重な「体験」を積むことができました。

今後、両校は、メール等のやりとりをとおして、さらに交流を深めていくこととなります。

豊かな体験活動



水神公園で「そうめん流し」を体験



日本の浴衣を着て、琴の演奏を体験



華道体験では、全員が作品を完成



「姉妹校宣言」に署名を行う両校長



村田市長と水里郷の施民政課長による、記念品の交換



水里中の陳校長(右側)と握手を交わす徳野校長(左側)

台湾の経済交流団体が美祢市を視察

8月21日(日)に、台湾の中小企業等で構成される台湾と日本との経済交流団体、台湾厚徳会の翁錦棟(オウ キントウ)会長ほか3人が、台湾外交部(日本の外務省に該当)の高官の人と一緒に本市を訪れ、市内を視察されました。

視察に先立ち行われた村田市長との会談では、翁会長から「美祢市の観光部門と農林産物部門について、台湾との交流に協力したい」との発言がありました。

会談後、台湾厚徳会の一行は、秋芳町青景の自然薯ほ場、秋芳町別府の秋芳梨選果場、秋芳洞、美東町大田の東山市有林を視察されました。



秋芳梨選果場において梨を試食する翁会長(右から2人目)

8/11 美祿市の子どもたちの英語の力を伸ばします！

新たに着任した2人の外国語指導助手、ロブレ アワレ先生（右）とシェルパ タシ先生（左）が、村田市長に着任の挨拶を行いました。

カナダの首都オタワで育ったロブレ先生は、自然に囲まれた美しい美祿市に着任できたことを、たいへん嬉しく思っているそうです。また、イギリスのイングランド出身のシェルパ先生は、地理学が専門ということもあり、秋吉台や秋芳洞の自然遺産に興味をもっているそうです。

ロブレ先生は美東・秋芳地区の小学校4校と中学校3校を、シェルパ先生は美祿・秋芳地区の小学校6校と中学校2校を、9月から担当しています。

2人とも、来日前に子どもたちに英語を教えた経験があり、「美祿市の子どもたちが恥ずかしながら、堂々と英語を使うことができるよう、しっかり自分の役割を果たしていきたい。」と決意を述べていました。



8/21 未来のドクター、美祿市で研修

「やまぐち地域医療セミナー2014in美祿」が8月21日から23日までの3日間にわたり美祿市で開催されました。

このセミナーは、医師を目指す学生が将来にわたり地域医療に携わる志を育てることを目的に、毎年県内各市町で山口大学や県立総合医療センターが主催して開催されています。

セミナーに参加した山口大学医学部や自治医科大学などの学生23人は、市立病院や美東病院、市内の診療所等でのいろいろな研修をするとともに、保育園児を対象にした衛生教育、熱中症をテーマにした健康教室などを行いました。

閉会式では、高橋睦夫病院事業管理者が学生に参加証を手渡し、充実した3日間のセミナーを修了しました。

参加した学生は、秋吉台や秋芳洞をはじめとする美祿市の豊かな自然と市民の温かい気持ちに深く感動されたようです。



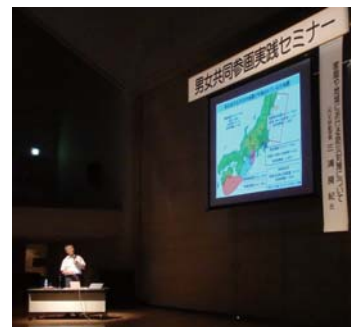
8/26 男女共同参画学習会in美祿（男女共同参画実践セミナー）

秋吉台国際芸術村で「家庭や地域における防災対策について」をテーマとした男女共同参画学習会を開催し、市民等約100人が参加しました。

山口大学副学長・大学院理工学研究科教授 三浦房紀さんによる講演では、今後の災害発生予測と、個人（自助）地域（共助）、行政（公助）の連携が防災力を高め、災害に強い地域づくりが被害を最小限におさえるうえで重要であると語られました。

また、男女共同参画の視点でつくられた「防災ハンドブック」が参加者全員に配られ、制作団体であるシンクロナイズネット副代表の岡本早智子さんがその活用方法について紹介されたほか、徳定自主防災組織（伊佐町）の活動について発表が行われました。

市では年1回、ワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の調和）を推進するための学習会を継続して開催する方針です。



9/16 市長が百歳高齢者を訪問

市内で今年度中に満百歳を迎える高齢者は18人です。

そのうち、於福町下の篠原トラヨさん、山田ヤエ子さん、於福町上の平嶋フシコさん、美東町綾木の井上シゲ子さん、秋芳町別府の山田美子さんの5人を、村田市長と弘利美祿市社会福祉協議会会長が訪問し、記念品を贈り長寿を祝いました。



秋芳町別府 山田美子さん